



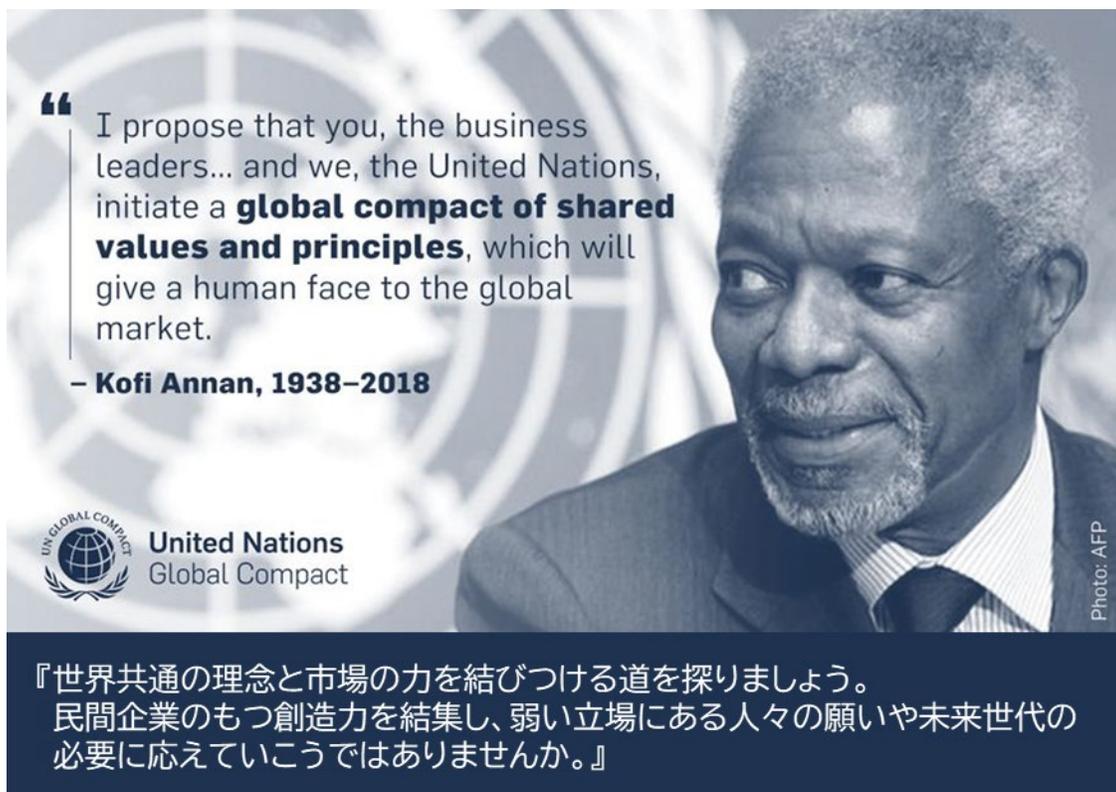
「SDGs進捗レポート 2022」 ～GCNJ企業・団体の取組みの現場から～ オンライン説明会



一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ)

公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)

2000年：国連グローバル・コンパクト創立



UNGC10原則

人権	＝	原則1：人権擁護の支持と尊重 原則2：人権侵害への非加担
労働	✳	原則3：結社の自由と団体交渉権の承認 原則4：強制労働の排除 原則5：児童労働の実効的な廃止 原則6：雇用と職業の差別撤廃
環境	〰	原則7：環境問題の予防的アプローチ 原則8：環境に対する責任のイニシアティブ 原則9：環境にやさしい技術の開発と普及
腐敗防止	ㄣ	原則10：強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取組み

2022年1月 現在

- 世界の署名数:19,396(内、企業15,586)
- 署名国数 :163ヶ国

約70ヶ国でローカルネットワークが活動
「国連」と「市民社会」を繋ぐ役割を担っている

4分野の国連憲章遵守を推進する団体

Global Compact = 地球規模の約束

会員は4分野の国連GC10原則に署名し、世界へ遵守を宣言する

グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）

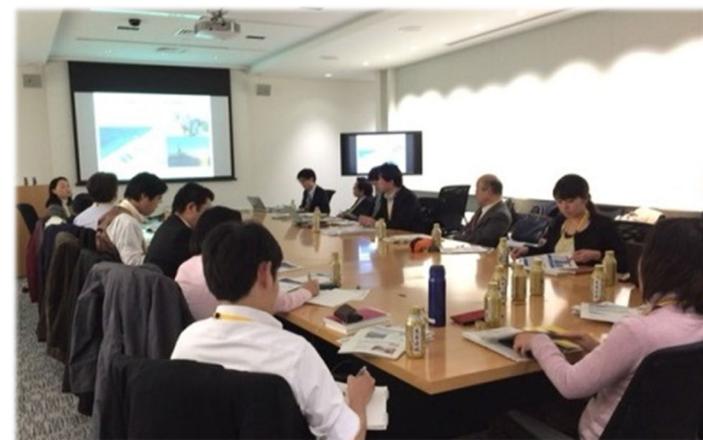
- 創立：2003年
- 国連グローバル・コンパクト（UNGC）のローカルネットワーク
- 国連の決議文で、地域における民間セクターのSDGsの実行推進は、グローバル・コンパクトのローカル・ネットワークの役割であると記載（決議番号 A/C.2/76/L.13/Rev.1）

【会員数】 **457**（2022年2月現在）

※9割が企業、1割が大学やNGOなど非営利団体

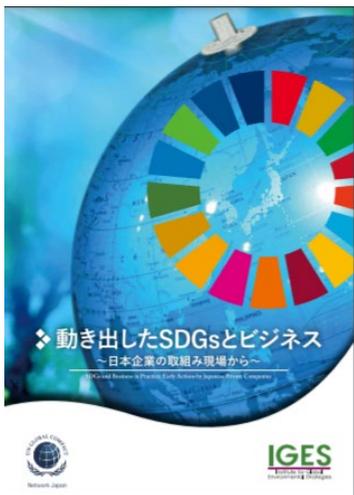
【活動内容】

日本の会員企業・団体のGC10原則、SDGsなどへの自発的戦略的行動をサポートし、各種啓発セミナーの開催、会員企業が主体となるテーマ別の14の分科会などサステナブルな社会の実現にむけて活動を推進。



SDGs調査レポートからSDGs進捗レポートへ

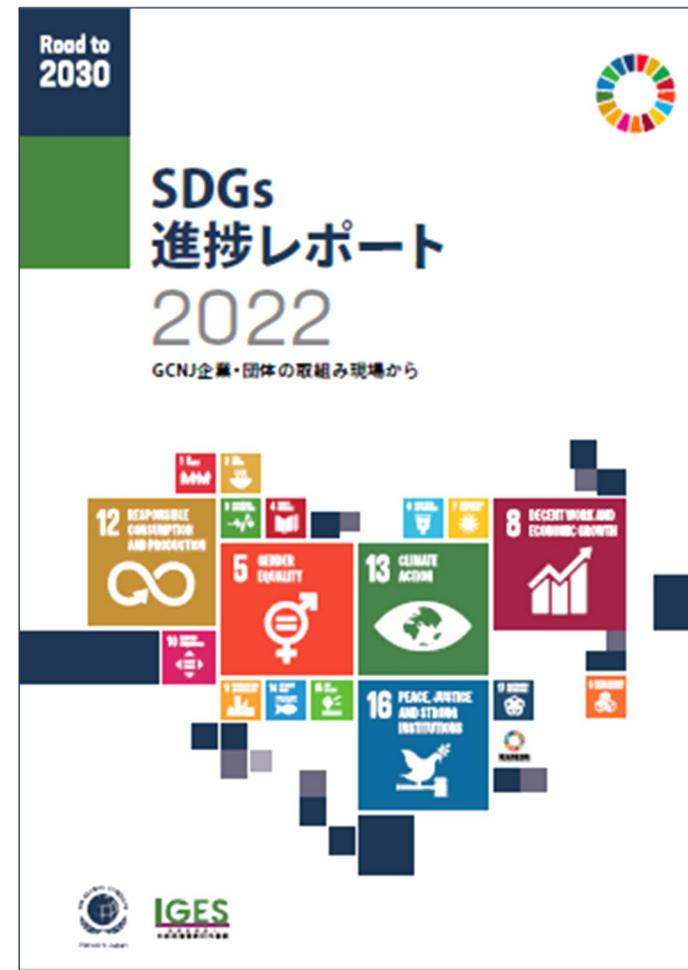
2016年開始



SDGsの認知度・浸透度の測定



SDGsの取り組みの質の測定



SDGs実態調査

■ 調査目的

- 会員企業・団体が自らのSDGs進捗度を知り、活動推進に役立てる。
- SDGs進捗の現状を分析評価し、GCNJの活動に活かすことで、会員の取り組みを効果的に支援する。

■ 調査期間：10月4日～11月18日

■ 実施方法：オンライン調査

■ 調査対象：2021年9月現在の437全会員

■ 回答：223会員（回答率51%）

■ 主な調査分野

SDGs17ゴールのうち、達成に企業が大きな責任を負っている5つのゴール

1. ジェンダー平等（ゴール5）
2. はたらきがい・人権（ゴール8）
3. 循環経済（ゴール12）
4. 気候変動（ゴール13）
5. 腐敗防止（ゴール16）

■ 各分野の専門家が設問を作成し、分析、評価を行った。

